

子どもの権利条例

小学生向けパンフレットのポイント

子ども未来局子どもの権利推進課

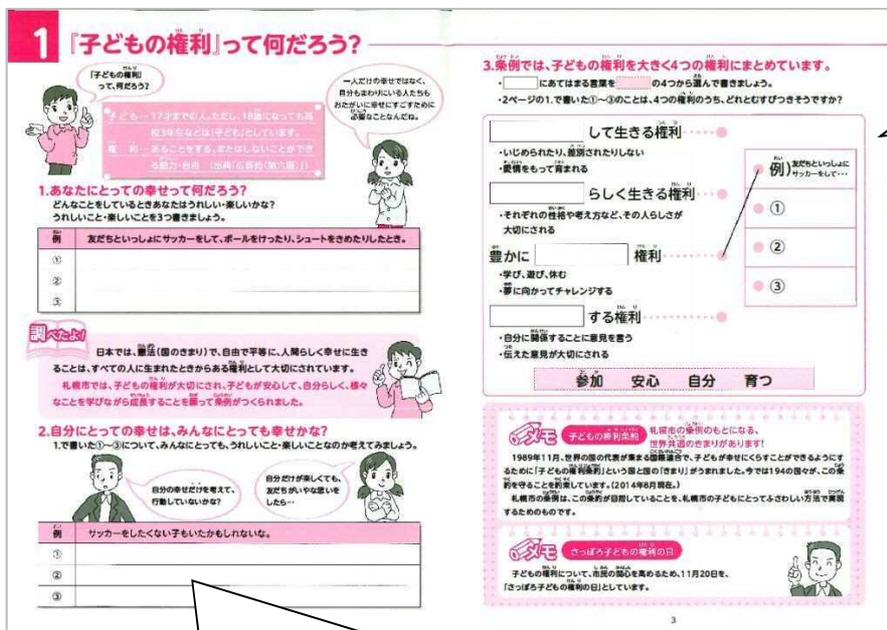
1 パンフレットの概要

- 子ども一人一人が安心して健やかに成長していくため、子どもの権利の大切さについて子どもたちが学び、理解を深めることを目的として作成しているパンフレットです。
- 例年、各学校を通して、小学4年生（4～6年生向け）、中学1年生（1～3年生向け）全員に配布しております。
- 社会科や特別活動、総合的な学習の時間等において、「子どもの命の大切さを見つめ直す月間」の取組ともあわせて様々な場面でご活用ください。
- 子どもの権利に関する教育については、「札幌市学校教育の重点」において「人権尊重の教育」の一環としても取り上げられておりますので、こうした状況も踏まえて本パンフレットの積極的なご活用をよろしくお願いいたします。

2 パンフレットのポイント

【2～3ページ】

子どもの権利を「あなたにとっての幸せ（うれしいこと・楽しいこと）」に置き換え、それを条例の内容に結びつけることで、子どもの権利を身近なものとして考えることができるようにしています。



◆ 自分がイメージしたこと、条例の内容を結びつけることで、子どもの権利を身近なものとして意識する（P3）。

◆ 自分にとってうれしいこと・楽しいことを自由に考える（P2 上段）。

◆ それが他の人にとってもうれしいこと・楽しいことなのかを考えることで、他人の権利も大切にすることを学ぶ（P2 下段）。

○9 ページ

「自分らしく生きる権利」のワークシートは、グループでの作業を想定し、「友だちのよいところやがんばっていること」をお互いに教え合い、メモするものとしています。

「自分らしく生きる権利」と自分らしさ

1. 伝えよう! 友だちの「自分らしさ」
 ①同じグループの友だち全員について、よいところやがんばっているところを書いて、教え合ひましょう。

友だちの名前	友だちのよいところやがんばっているところ

②友だちが教えてくれた自分のよいところをメモしましょう。

教えてくれた友だちの名前	友だちから見た自分のよいところやがんばっているところ

2. 見つけよう! ぼく・わたしの「自分らしさ」
 自分でも「いいな」と思っている自分のよいところを書きましょう。

3. かがやかせよう! ぼく・わたしの「自分らしさ」
 自分のよいところをもっとかがやかせるために、これまでがんばってきたことや、これからがんばってきたいことを書きましょう。

お世話になった人	その内容
例) おばあちゃん	がんばったときに、いっしょにおんこんでくれたことが自信につながった。

◆ グループワークを通して、友だちのよいところを見つけ、それをお互いに教え合いながら、自分自身のよいところを再認識し、将来の成長につなげる。

おさえてほしいポイント!

○11 ページ

「豊かに育つ権利」のワークシートは、「心の成長」をテーマに、自分自身の成長や周囲からの支えを振り返ることができる内容としています。

「豊かに育つ権利」と心の成長

わたしたちが育ってきた身の回りを見つめよう!
 これまでの自分と比べて、心が成長したと感じることを書きましょう。

水や空気が清潔—わたしたちが生きていくために欠かせないものですが、それだけでわたしたちは大きくなってしまいましたか。わたしたちの心の成長に欠かせないものって何でしょう。思いつくものを書きましょう。

あなたの心が成長するのに、どんな人にお世話になりましたか。また、どんなことが心の成長につながったと思いますか、書きましょう。

お世話になった人	その内容
例) おばあちゃん	がんばったときに、いっしょにおんこんでくれたことが自信につながった。

自立しないところで、わたしたちが成長を促されていく人がたくさんいるよ。

わたしたちは、これまでも自分自身で決断して一人で成長していくけど、いいよね。

◆ 心が成長したと感じた経験やお世話になったひとを書いて、自分自身の成長や周囲からの支えを振り返る。

おさえてほしいポイント!

○13 ページ

「参加する権利」のワークシートは、話し合い活動を進める際のポイントを説明し、実際に学級や委員会活動を行う際にも活用できるものとしています。

7 「参加する権利」と話し合い活動

よりよい学級やよりよい学校にするために
みんなで話し合いたいこと、考えたいことはありませんか？

○こんなことをみんなでやってみよう。
○みんながもっと元々になるためにこんなことを考えよう。
○こまっていることがあるよ、みんなで解決しよう。

話し合う場	話し合いたいこと・自分の考え
学級	休み時間にみんなが仲よく遊べる、ミニ集会をやってみよう。
委員会	全校で、気持ちのよいあいさつを広げる活動をしらべようかな。
話し合う場	話し合いたいこと・自分の考え

学級の活動や児童会の活動に選んで参加し、自分の考えを伝えよう。
みんなで話し合うことによって、さらによい考えを生み出すことができます。

話し合い活動の進め方

話し合いたいことをみんなに伝えよう

みんなは意見を聞き合おう。みんなの考えをたくさん出し合おう。少数意見も大切にしよう。

みんなで意見を出し合おう

おたがいの考えを分かり合おう・比べよう

みんなでまとめよう・決めよう

みんながもっと元々になるために... 話し合いたいこと・考えたいこと、考えよう。

まとめる時には、「みんなに聞いて」「みんなが納得する」ということを大切にします。

みんなでやってみよう

◆ 話し合いを進めるポイントを踏まえ、学級や委員会活動で話し合いたいことを挙げ、自分の意見を伝える工夫を考える。

おさえてほしいポイント！

【14～15 ページ】

子どもが困ったり悩んだりした時に相談できる窓口として、権利条例により設置した子どもの権利救済機関（子どもアシストセンター）などの情報を掲載しています。

【16 ページ】

まとめを掲載し、子どもたちがパンフレットの内容を振り返ることができるようにしています。